

大阪市社会教育委員会意見具申「地域と学校の協働による生涯学習の推進について」《概要》

序章：生涯学習大阪計画の経過

○第1次計画(1992～2005)「人間尊重の生涯学習都市・大阪」
「基本的な人権、自由、民主主義、ノーマライゼーション等の人間尊重の考え方を基本として、一人ひとりが人生のあらゆる段階や場面において、できる限り自己実現をめざし、自己に適した手段・方法を選んで、自ら進んで行う自己教育活動であるとともに、学習者がその成果を社会に広げ、よりよい社会への変革を担っていくことができるための学習」

○第2次計画(2006～2016)「自律と協働の生涯学習社会をめざして」
これまでの考え方に加え、「市民一人ひとりが身近な問題について主体的に考え、ともに解決にあたるという、自律し連帯する力である『市民力』を獲得するための学習」も含む

○第3次計画(2017～2020)「ひと、まち、まなびをつなぐ生涯学習」
これまでの考え方を継承し、「市民同士が交流を図り協働する中で、連携による新たな学習や価値を創造していく取組」を加える

第1章：生涯学習を取り巻く状況

1 社会状況

- ① 少子高齢化の進展・人口減少社会の到来
- ② グローバル化の進展と市民・子どもの課題の多様化
- ③ 情報化社会の進展

2：地域と学校に関連する国の施策等の動向

- ① 社会教育の動向(社会教育法改正「地域学校協働活動」)
- ② 学校教育の動向(新学習指導要領、学校運営協議会)

3 大阪市の関連施策の状況

こども・子育て支援計画、こどもの貧困対策推進計画ほか

4 市民意識(H30世論調査結果)

◆一定期間継続した生涯学習活動の実施率は45.9%

第2章：大阪市の教育コミュニティづくりの現状と課題

1 「教育コミュニティ」づくりと「地域と学校の協働」について

・大阪市の教育コミュニティ(定義)：地域社会の共有財産である学校を核とし、地域社会の中で、さまざまな人が継続的にこどもに関わるシステムをつくり、学校教育や地域活動に参加することで、子どもの健全な成長発達を促していこうとするもの。かつての地縁的コミュニティに加えて、少子・高齢化等が進む新しい時代のコミュニティとして、学校・家庭・地域社会の協働をめざすものである。(第3次生涯学習大阪計画)

2 教育コミュニティづくりの現状把握と検証

- ・小学校区教育協議会—はぐみネット—事業
- ・学校元気アップ地域本部事業
- ・生涯学習ルーム事業
- ・放課後の子どもの居場所づくりの取組
- ・その他関連する取組

3 教育コミュニティづくり全体の課題について

- ・学校と地域の連携についての課題
- ・小中連携、小学校区と中学校区の連携
- ・地域と学校をめぐる施策上の課題

第3章：地域と学校の協働による生涯学習の新たな展望

1- (1) 人・地域・学校のつながりの強化 ～ネットワークとセーフティーネットの視点～

地域と学校の課題解決に資する生涯学習の推進
↑
多様な大人が見守るゆるやかな「セーフティーネット」の広がり
↑
「地域の教育力」の向上
↑
人・地域・学校のつながり「ネットワーク」の強化
子どもの「教育」と「生活」を支える視点／大人も学び合う視点

1- (2) 地域の生涯学習を支える人づくり

- ◆多様性(ダイバーシティ)の視点
 - ・女性、外国籍住民、障害のある人、子どもなど市民の多様性に目を向け、自発的・主体的な活動の担い手として参画
 - ・人権の尊重、当事者の声を活かした相互理解が重要
- ◆地域の「コーディネーター」の重要性
 - ・高い人権感覚、豊かなコーディネート能力
 - ・コーディネーターを支えるしくみ・環境づくり
- ◆学校と地域の協働の重要性
 - ・社会に開かれた教育課程の実現
 - ・「学校における働き方改革」の視点

2 具体的方策

- (1) 子どもをめぐる社会的課題へのアプローチ
 - ・子どもの貧困問題、いじめ、児童虐待、不登校、子どもの自尊感情、生きる力、協働による新たな教育の創造
- (2) 多文化共生・人権の視点
 - ・多文化の子どもたち・その親への支援、多文化を強みに
- (3) 新しい学習課題と地域での学び合い
 - ・新学習指導要領、現代的・社会的課題、大人の学び
- (4) 担い手のあり方とネットワークの形成について
 - ・活動を担う立場の視点、多様性(ダイバーシティ)
- (5) 大阪市の強みを生かした新たな取組について
 - ・大阪市民の「市民力」、生涯学習ルーム事業ほか

第4章 今後の大阪市の生涯学習施策のあり方について 基本理念「つながり、支え合い、共に育つ」生涯学習

- 1 次期「生涯学習大阪計画」に向けて～「つながり、支え合い、共に育つ」生涯学習～
 - ・地域と学校の協働によって、個々には達成できないような、相乗的な成長を互いに享受する
- 2 今後の生涯学習・社会教育行政のあり方について
 - ・生涯学習大阪計画は全市的な計画として、教育振興基本計画(学校教育)と連携して効果的に推進
- 3 その他、生涯学習の推進に必要な視点
 - ・人生100年時代に求められる生涯学習、すべての人が学び活躍できる「生涯学習社会」をめざして